

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	海印寺保育園	施設種別	保育所 (旧体系： )
評価機関名	一般社団法人京都社会福祉士会		

平成 27 年 3 月 27 日

総 評	<p>社会福祉法人長岡福祉会は、長岡京市で「ポストの数ほど保育所を」と、保育所に対する需要が急激に増えた昭和 45 年に、長岡京市で初めて法人認可を受け「二葉保育園（乳児）」を開園しています。同保育園は、昭和 48 年に開園し、その当時から障がいのある子どもを受入れ保育をしており、現在の「障がい児保育＝統合保育」の取り組みに至っています。</p> <p>また平成 3 年に府内で最初に一時保育を開始し、平成 18 年には、子育て中の親子が気軽に語り合い、保育士などに悩みや相談ができる、くつろげる場「さんさんの会（つどいの広場事業）」を設置しています。</p> <p>海印寺保育園は、開園当時から子ども・保護者・地域を大事にする一貫した保育理念や保育方針を掲げています。今後も、長岡京市の地域のニーズを掴み、保護者や地域の人々との関係を大事にし、交流を深め、地域に根ざした保育園を目指してください。</p>
特に良かった点(※)	<p>○ボランティアの活動 卒園児の保護者や地域の方など、多くのボランティアとして活動しています。また、卒園児の子どもが入所し、元保護者が「グランマの会」として継続してボランティアとして関わっています。</p> <p>○地域との連携 給食の食材は、地域の物を使い、地元農家の協力を得て園児が菜園活動を体験するなど、地域との連携があり、自治会などとの関係も大切にしています。</p> <p>○食育への取組 食育で子どもの健康に留意しています。保護者は、試食会で、お茶碗に入ったごはんの分量（3歳児 100g、5歳児 120g など）や、薄味のおかずを食べたりすることで、子どもの肥満等に配慮するようになります。またクッキングルームで、3歳から親子クッキングをして、家庭の食育に繋いでいます。</p>

	<p>○保育方法の共有</p> <p>法人が保育園を新設したことにより、正職員の大幅な異動がありました。そのような状況下でも、安全管理に留意して保育を行っています。園長の子ども達へ接する態度や思いが、職員に伝わり、チームワークの良さとなっています。子どもが喧嘩しているときの保育士の対応や、給食時の子どものつぶやきなどを聞き取る職員の姿に、「子ども一人ひとりに寄り添う保育」をしていることを感じました。</p>
<p>特に改善が 望まれる点(※)</p>	<p>○個別の研修計画の策定</p> <p>平成26年度研修計画は、子育て支援・音楽リズム・体育遊び・メディア研究・障がい児保育・造形遊び研究・自然環境研究・保健衛生・乳児保育・食育研究などに大別し、キャリアや技術にあわせて作成していますが、一人ひとりの研修計画がありません。キャリアや技術に沿った個人の長期的な視点を含めた研修計画の作成をお勧めします。</p> <p>○ボランティアマニュアル</p> <p>地域住民や卒園児の保護者など、多くのボランティアが活動していますが、マニュアルがありません。意義や方針を明文化するとともに、ボランティア受け入れについてのマニュアルを作成し、それを基に事前説明する事をお勧めします。</p> <p>○プライバシー保護の規定</p> <p>プライバシーに配慮した保育をしていますが、プライバシー保護に関する規定・マニュアルなどありません。マニュアルを作成し、職員に研修することをお勧めします。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

---

## 【保育所版】

# 評価結果対比シート

---

受診施設名	海印寺保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都社会福祉士会
訪問調査日	平成27年1月26日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1 (1) 保育の理念、基本方針・目標が確立している。	① 保育の理念が明文化している。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化している。	A	A
	I-1-1 (2) 保育の理念、基本方針・目標が周知している。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知している。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知している。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-1 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にしている。	① 中・長期計画が策定している。(非該当)	A	A
		I-2-2 (2) 保育の計画が適切に策定している。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成している。	A
	② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。		A	A
	③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定している。		A	A
	④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。		A	A
	I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1 (1) 管理者の責任が明確にしている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。			A	B
	I-3-1 (2) 管理者のリーダーシップが発揮している。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

I-1-1 (1) ① 保育理念は、海印寺保育園のパンフレットやホームページに明文化しています。  
 I-1-1 (1) ② 保育理念の基、基本方針、保育目標をパンフレットやホームページに記載しています。  
 I-1-1 (2) ① 保育理念、基本方針、保育目標の周知を目的とした会議をしていることを、職員会議録などで確認しました。  
 I-1-1 (2) ② 入所説明会・保護者会や、一時保育・つどいの広場(さんさんの会)の利用者に説明しています。また自治会(太鼓山、東山)には回覧版などで周知しています。  
 I-2-1 (1) ① 地域のニーズを汲みとり、中・長期計画に沿って施設の改修、増築などを行っています。  
 I-2-2 (1) ① 保育課程は地域の特色やニーズに合わせ見直し、再編成に生かしています。  
 I-2-2 (2) ② 保育課程を基に年間指導計画・期別指導計画・月別指導計画を作成し、幼児は週案・乳児は個別指導計画に反映しています。  
 I-2-2 (2) ③④ 毎月、職員会議や乳児ミーティング、幼児ミーティング、給食会議などで話し合い、自己評価(保育関係、保育環境、保護者対応、法人職員としての責任等)し、組織的に指導計画を作成しています。  
 I-2-2 (2) ⑤ クラスだよりで指導計画等を具体的に知らせ、懇談会で説明しています。また新規採用職員には、5日間の実技研修の中で保育課程、指導計画を説明しています。  
 I-3-1 (1) ① 管理者の役割等については職務分担表に表明していますが、管理者自らの評価・見直しの方法はありません。  
 I-3-1 (1) ② 事務室と職員室に諸規定はありますが、リスト化するまでには至っていません。  
 I-3-2 (1) ① 保育士一人ひとりがやりがいと意欲を持って仕事ができるように、法人内3保育園合同宿泊研修の中で事例検討などで活発に意見交換をしています。また「職員のレベルアップとモチベーションのためのチェック項目」を活用し、職員会議で読み合わせで共有すると共にライセンス取得を勧め、質の向上を図っています。  
 I-3-2 (2) ② 正規職員が半数でそれ以外を嘱託職員・非常勤職員で運営する中、毎日主任保育士と意見交換を行い、登降園時間のリストを作成し、一時保育や統合保育の確認、看護師の配置などで良い職場環境づくりに取り組んでいます。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握している。	A	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理体制が整備している。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなしている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築している。	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立している。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A
		① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示している。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定し計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	B
① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。		A	A	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保している。	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A
		① 利用者や地域のかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保している。	③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	B
① 必要な社会資源を明確にしている。		A	A	

[自由記述欄]

II-1-(1) 園長は経営セミナー（年4回）に参加し、保育の現況を把握しています。民生児童委員も参加している長岡京市保幼小連絡会に出席し、情報交換をしています。また、地域の自治会に加入し、回覧板等で保育園の情報などを発信しています。

II-2-(1) ① 保育士養成を行っている大学や短大からの実習を積極的に受け入れて、人材の育成に努めています。

II-2-(2) ① 職員の子どもの参観や面談などについては2時間休暇の仕組みを活用し、出席できるようにしていますが、異動により正職員数が少ないため有給休暇を取得しやすい環境とは言い難いです。また、仕事や家庭のことなどの相談はできているとのことですが、定期的に職員との個人面談などはしていません。

II-2-(2) ② 35歳以上の正職員は生活習慣予防健康診断を受け、非常勤・嘱託職員は健康診断を義務付け、補助をしています。悩み相談窓口については、京都府民間社会福祉施設職員共済会に相談できる体制となっています。

II-2-(3) ① 平成26年度研修計画に、職員の教育・研修に関する基本姿勢を明示しています。

II-2-(3) ② 保育内容、教材・環境整備等の役割分担や、担当クラス、職員の意欲などを考慮し、職員会議で研修計画を作成していますが、一人ひとりの研修計画は策定していません。

II-2-(3) ③ 研修報告を職員会議で行い、職員間で共有していますが、報告書が確認出来ない研修もありました。

II-2-(4) ① 実習受け入れのマニュアルを整備しています。また現役小学校・中学校教師の実習を受け入れています。

II-2-(4) ② 地域子育て支援事業を体験するプログラムがあり、実習生が保育士の対応や子育て相談をしている様子を見ることが学びとなっているようです。実習担当者と養成校とが協力し、計画を作成・実施しています。

II-3-(1) ① 近隣の小学校・中学校や京都市内から体験学習53名を受け入れたり、市民の「ガラシャ祭り」に職員と子どもが毎年参加しています。また、「グランマの会」のシルバー世代が、お餅つき、マラソン大会のメダルづくり、卒園アルバム作りなどの行事に参加して子どもと交流しています。民生児童委員が年1回来訪し、情報交換をしています。

II-3-(1) ② 集いの広場「さんさんの会」（子育て中の親子が気軽に集い、語り合い、くつろげる場で、悩みや相談もできます）を開設しています。「さんさんの会」には地域の未就園児（10～20名）が、日曜日を除き毎日利用しており、園の行事にも参加できるようにしています。また、月1回「おもちゃの病院」に場所を提供をしています。

II-3-(1) ③ 「グランマの会」や卒園児の保護者（週1回絵本の読み聞かせなど）、地域住民（こままわしの指導など）など、ボランティアを積極的に受け入れています。受け入れマニュアルがありません。

II-3-(2) 社会資源リストを作成し、事務所と職員室に掲示しています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示している。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	B
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	B
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保している。	① 苦情解決の仕組みが確立し十分に周知・機能している。	A	B
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	B
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	B
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	B

[自由記述欄]

Ⅲ-1-(1)① プール遊び時の目隠し、オムツ交換などは決まった場所で行う等プライバシー保護に関する配慮はしていますが、規定やマニュアル等は整備していません。また、職員、保護者への周知を確認できませんでした。

Ⅲ-1-(2)① 苦情解決の責任者、担当者を置き、苦情を申し出た保護者に対して、検討内容や対応策をフィードバックするとともに、クラス懇談会等で報告していますが、苦情解決の仕組みを掲示していません。

Ⅲ-1-(2)② 「意見苦情対応マニュアル」に基づいて、保護者からの意見や提案を真摯に受け止め、検討内容や対応策を報告していますが、改善結果の記録がありません。また、マニュアルの見直しが行われているかどうかは確認できませんでした。

Ⅲ-2-(1)① 過去2回（平成19年・23年度）第三者評価を受診しています。自己評価は毎年行い、事業所評価の客観性と組織の透明性の向上に努めています。しかし、評価結果で明確になった課題に取り組む過程（改善計画→実施→評価→改善）を画面で確認できませんでした。

Ⅲ-2-(1)② 自己評価表（保育内容・保育環境・保護者対応・法人職員としての責任・その他）を基に、毎月、職員一人ひとりが保育事業を評価し、園長・主任保育士が検討結果を個人にフィードバックしています。職員間で改善課題を共有し、改善に向けた取り組みを行っています。

Ⅲ-2-(2)① 入園面接時に「児童票・健康管理簿・発達状況調査表」で子どもの身体状況や生活状況等を初期評価しています。また、発達や育ちに課題がある子どもについては、保健師や関係機関、行政から情報を得ています。

Ⅲ-2-(2)② 個人情報保護規定や就業規則（細則）に基づき、利用者に関する記録の管理体制を整えています。研修・教育等による職員周知を確認できませんでした。

Ⅲ-2-(2)③ 「全職員で全園児を」をモットーに、申し送り・ミーティング（日誌）、職員会議（ケース会議）、週案作成会議等で、子どもの個々のケースに対する保育や援助について検討し、職員間で情報を共有しています。発達や育ちに課題を持つ子どもの保育や援助の内容と経過が解る「個人別ファイル」を作成しています。

Ⅲ-3-(1)① 保育園の理念や保育サービスの情報をホームページで紹介するとともに、入学式では映像で紹介しています。また、パンフレットや広報誌等を公共施設等に配布し、見学、体験利用等の希望には適宜対応しています。

Ⅲ-3-(1)② 保育開始にあたっては、新入園児一人ひとりと面談し、パンフレットやしおり等で説明し、保護者等の同意を得ています。四季折々の保育活動をカラー写真で紹介しているパンフレットは、子どもや保護者に分かりやすいものとなっています。

Ⅲ-3-(2)① 就学及び転園の際には、子ども一人ひとりの「保育要録」を送付し、保育サービスの継続性に努めています。特別な配慮を要する子どもについては「長岡京市適正就学指導委員会」と連携して、対応しています。卒園児の保護者が相談に来ているようですが、卒園後の相談方法や担当者などを文章では周知していません。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	B
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備している	A	A
		④ 身近な自然や社会とかがわかるような取り組みがなしている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮している	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備し、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備し、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備し、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

【自由記述欄】

IV-1-(1)①「保健・衛生マニュアル」に基づいて、一人ひとりの子どもの登園時や保育中の健康状態を「健康管理簿」と「健康記録ノート」に記録しています。看護師が週2回、子どもの健康状態を把握しています。

IV-1-(1)②児童福祉施設最低基準に基づいて年2回、健康診断を実施し、結果を「健康記録ノート」に記載しています。一人ひとりの健康状態を園の保育や家庭保育に活かしています。また、健康上、配慮を要する子どもに対しては園医（内科・歯科）の指示を仰いでいます。

IV-1-(1)③歯科検診を実施し、虫歯の早期発見・早期治療、口腔ケアの周知徹底につなげています。

IV-1-(1)④「保健・衛生マニュアル」に基づき、感染症の発生予防に努めるとともに、発生時には「保健だより」で保護者に情報を伝え、家庭保育での注意喚起を行っています。

IV-1-(1)⑤3歳児からの親子クッキング（クッキングルーム）、野菜や芋等の収穫（ミニ菜園）、園庭での外食、異年齢でのお食事会等、子どもが食べものに関心を寄せ、食事を楽しむことが出来るよう様々な取り組みを行っています。調査当日は子どもが配膳や後片付けに参加し、楽しい食事風景を伺うことができました。保護者は試食会に参加し、意見や要望を提案しています。

IV-1-(1)⑥保育士も参画する給食会議で献立等を検討しています。また、毎月、法人3園の給食担当で話し合い、その内容を給食委員会会議録に記録するとともに、「給食委員会だより・食育だより」で広報しています。給食試食会（保護者対象）のアンケート調査結果も献立に活かしています。

IV-1-(1)⑦献立表を作成し、書面で保護者に配布しています。給食試食会で栄養士の食に関する講話を実施しています。設置場所や夏季の安全面を理由にサンプルは展示していません。

IV-1-(1)⑧アレルギー疾患を持つ子どもに対しては、専門医の指示の下で除去食や摂取可能食品の提供等、適切に対応しています。

IV-1-(2)①保育指針に基づいて、子どもが快適に過ごせる園舎の環境整備に努めています。屋外の遊具・砂場の衛生、寝具の消毒・乾燥に留意し、毎土曜日に職員が園庭・室内の遊具を点検しています。また、定期的に「おもちゃの病院」ボランティアによる修理を行っています。

IV-1-(2)②開設42年を迎えた施設であり、計画的に移転や補修工事を行い、子どもの安全・安心に配慮した環境作りに努めています。

IV-1-(3)①職員は常に穏やかな口調で話しかけ、子どもに寄り添う保育を心がけています。園長は全職員に「寄り添う保育」を伝えていきます。

IV-1-(3)②発達段階に応じた午睡、着替え、排泄等の生活習慣が身に付くように指導計画を立て、年齢に応じた関わりを実践しています。午睡時に眠くない子どもには、絵本を読んで過ごす等の配慮をしています。

IV-1-(3)③各保育室には年齢に応じた遊具や玩具を用意し、延長保育時には好きな遊びが出来るコーナーを設けて、過ごしやすくしています。

IV-1-(3)④お餅つきや七夕会等の季節行事を取り入れ、年長児は「グランマの会」と一緒に、公共交通機関を使い、万博公園まで秋の遠足に出かけています。また、月1回お茶のお稽古をしており、卒園前には保護者と共に制作した茶碗を使ってお茶会を催しています。

IV-1-(3)⑤自由時間に粘土やクレヨンなどを使い、好きな制作活動を行う工夫をしています。表現活動は子どもの心情を育てる大切な活動としており、年齢別に様々な楽器を取り入れ年1回の発表会や各クラスが順番に発表する毎月の誕生会をしています。また、週1回、卒園児の保護者が、年齢に応じた絵本の読み聞かせをしています。

IV-1-(3)⑥年齢に応じた当番活動を行い、行事やお楽しみ会の時には異年齢の子供と関わる機会を持ち、幼児クラスは夏季保育時等に異年齢を縦割りにしたにしたグループ活動をしています。

IV-1-(3)⑦週1回外国人講師を招いて「英語で遊ぼう」という活動を行い、異文化を知る機会を作っています。職員は京都府保育協会の人権擁護の研修に参加して、人権に対する理解を深めています。

IV-1-(3)⑧保育の中では、個人の持ち物等で色の区別はしないようにし、性差がある事に気づくことは自然なものと捉え、普段から男女の固定概念を持たないように心がけています。

IV-1-(3)⑨乳児室は幼児とは別に部屋続きでプール遊びが出来る場所を作り、ベッドはゆったり寝られるように配置しています。SIDS（突然死症候群）チェック表はクラス別に時間設定し、常に確認出来る体制にしています。

IV-1-(3)⑩延長保育では、子どもが好きな遊びをしながらくつろいで過ごすコーナーを設営し、正職員が必ず保育しており、引継ぎはメモを通して確実に伝わるようにしています。

IV-1-(3)⑪障がい児を積極的に受け入れており「乙訓ポニーの学校」と連携しています。保護者には個別ノートを利用し、情報交換をしています。「長岡京市障がい児保育指導会議」に障がい児対象児童の発達記録表で援助記録、経過観察記録を報告をしています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録している	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備し、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かしている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

IV-2-(1) ①送迎時や年2回の個別懇談、クラス懇談の機会に保護者と情報交換を行い、必要に応じて個別面談を実施しています。  
 IV-2-(1) ②個別懇談の内容は、懇談カードに記録し、内容と返答に分けて記載しています。  
 IV-2-(1) ③クラス懇談会のほか、誕生会や親子遠足、親子クッキング等の行事を通じて保護者と接する機会を持っています。  
 IV-2-(1) ④マニュアルを整備し、職員で読み合わせをしています。こども福祉課と連携して要観察児童の進行管理表を基に「学校及び保育所から市町村へ定期的な情報提供に関する回答書」を提出しています。  
 IV-2-(1) ⑤虐待対応マニュアルに基づいて、こども福祉課を通して通告、通報することになっています。通報先をマニュアルに明示しています。  
 IV-2-(1) ⑥月の指導計画に自己評価、こども評価を記載しています。学期ごとの児童記録はあそび、生活、情緒等項目別に記録しています。年2回、保幼小連携会議を行い、園児は小学校で一日体験学習（給食・授業）に参加し、小学生と交流しています。保育要録は毎年3月に送付しています。  
 IV-2-(2) ①別館に一時保育のための保育室を確保し、専任の保育士を配置しています。保育日誌で子どもの状態を把握し、連絡ノートや毎月発行する「すみれぐみだより」を通じて保護者に情報提供しています。自由遊びや、行事、プール遊びをなど通常保育の子どもと交流の機会があります。

gal

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施している	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	B
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している	A	A

[自由記述欄]

IV-3-(1) ①「安全管理マニュアル」「保育衛生マニュアル」を作成しています。給食衛生管理記録簿を毎日提出し、給食室の衛生管理に気を付けています。職員会議でマニュアルを読み合わせ、内容を確認し、毎週土曜日に保育室の自己点検を行っています。  
 IV-3-(1) ②食中毒対応マニュアルに基づいて職員会議でマニュアルの読み合わせを行い、内容の見直しを行っています。  
 IV-3-(1) ③安全管理マニュアルを整備し、自主点検を定期的に行い、ヒヤリハットの事例収集をしていますが、発生要因の分析等までには至っていません。  
 IV-3-(1) ④安全管理マニュアルに災害発生時の対応を明記し、マニュアルに基づく研修を行っています。毎月、避難訓練を実施しています。  
 IV-3-(1) ⑤安全管理マニュアルに不審者侵入時の対応を明記しています。長岡京市交通安全会議に出席し、向日町警察で開催している研修にも参加して訓練をしています。